

グラウンドセル® 擁壁工法 Groundcell®

グラウンドセル擁壁工法とは、高密度ポリエチレン製の立体ハニカム構造のジオシンセティックスで碎石・土砂を拘束し、階段状に積み上げる事で擁壁を構築し、のり面を保護する工法です。

■ 製品規格

セルタイプ	型式	標準展開寸法 (H×W×L)	カラー
3セルタイプ	GW-150M	150mm × 2.65m × 0.800m	ブラック
4セルタイプ	GW-150M-CL4	150mm × 2.65m × 1.067m	ブラック
5セルタイプ	GW-150M-CL5	150mm × 2.65m × 1.333m	ブラック

※上記製品規格以外は、製品寸法、製品カラー等、特注生産になりますので、ご相談ください。

■ 特長

軽量で持ち運びが簡単

製品が軽量のため、運搬が容易です。

コンパクトで置き場所をとらない

搬入時製品は折りたたまれ、コンパクトな状態のため、置き場所をとりません。

簡単で素早い施工性

使用する部材が少なく、施工は特殊な作業の必要がないため、誰でも簡単に施工が可能です。

コンクリートの養生期間が不要

コンクリート基礎を必要としない工法であり、コンクリートを使用しないため、コンクリートの養生期間が不要です。

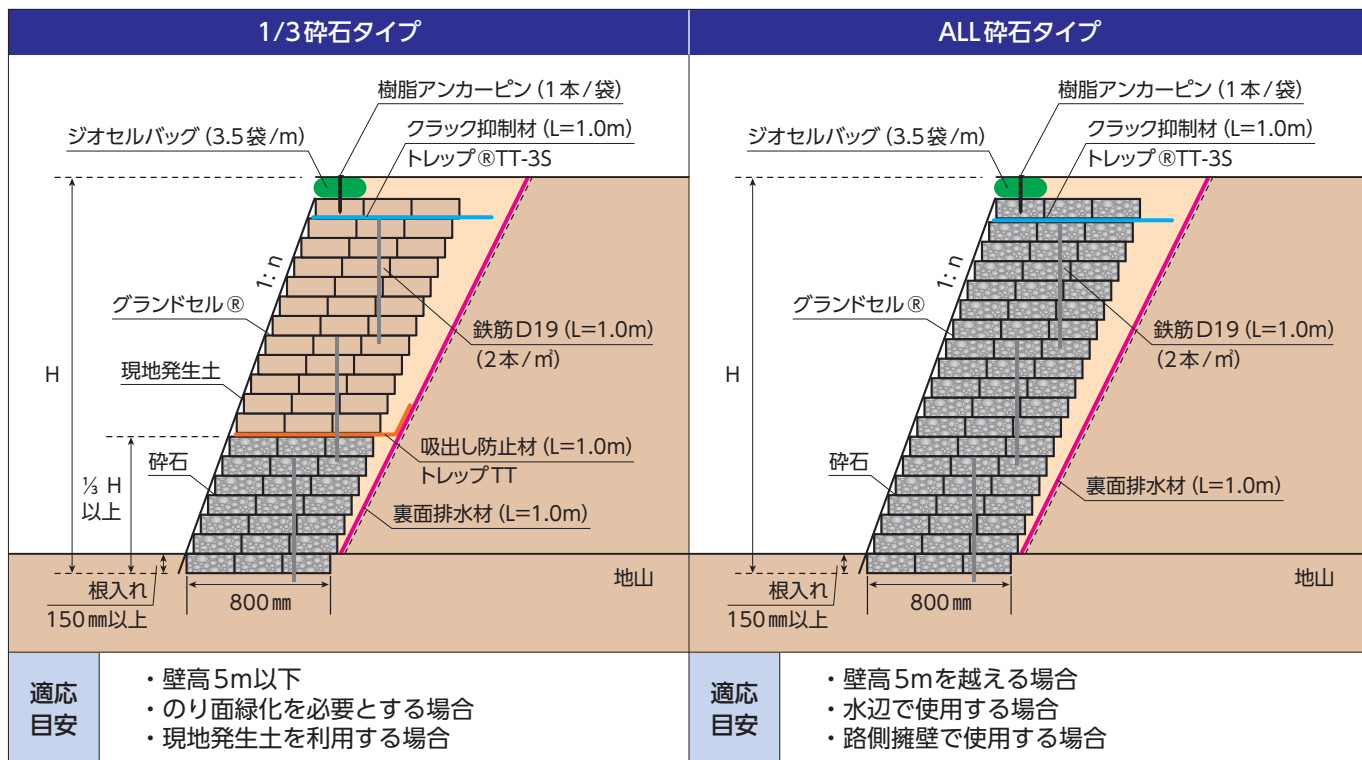
現地に合わせた適応性

中詰材には碎石、RC材、現地発生土等の様々な材料を使用でき、現地の地形に合わせて簡単にのり面勾配や曲線部に適応できます。

優れた耐久性

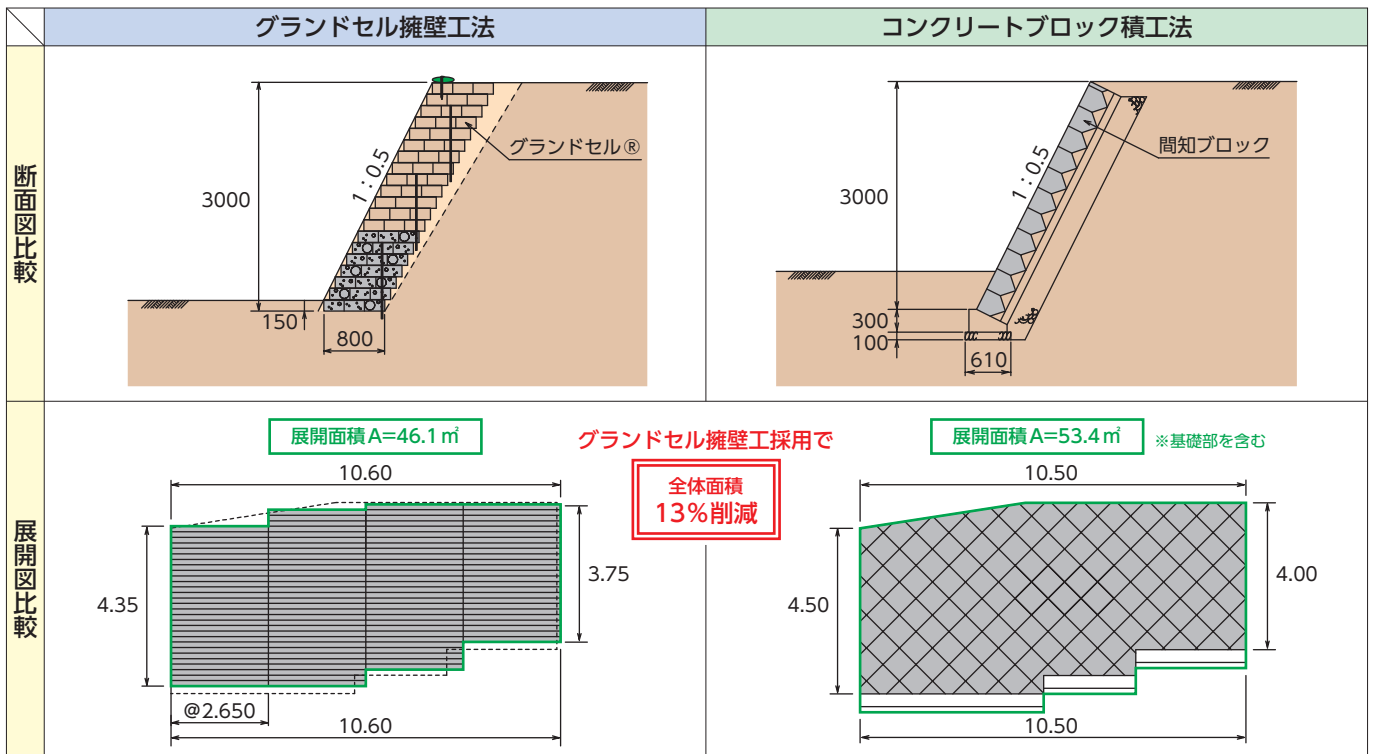
高密度ポリエチレン製のため、酸・アルカリなどの耐薬品性にも優れており、紫外線に対しても優れた耐候性を発揮します。

■ 標準断面図



※上記構造を標準としますが、中詰材の対応、吸出し防止材の使用、鉄筋の長さ、根入れ深さなど現場状況に合わせてご提案をさせていただきます。

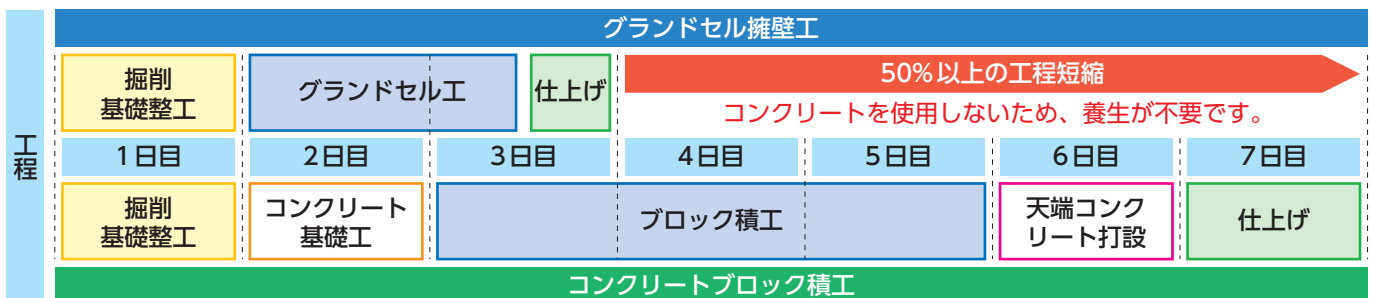
■ 擁壁工法比較表



	グラウンドセル擁壁工法	コンクリートブロック積工法
製品重量	約4kg/枚	約40kg/個
直高面積100㎡あたりの使用量	250枚(約1t)	約800~1000個(約40t~50t)
CO ₂ 排出量	グラウンドセル擁壁工法は部材が軽量でコンパクトなため運搬回数が少なく済み結果CO ₂ の発生を抑制することが可能	
運搬	軽車両で可能 場内は人力でも可能	大型車両が必要 場内でも重機が必要
施工性	普通作業員で可能 人力のみの施工が可能	ブロック工が必要 重機が必要
基礎工	コンクリート基礎工が不要	コンクリート基礎工が必要
植生	緑化が可能	緑化は困難
現地発生土	中詰材として使用可能	残土処理が必要
施工の養生期間	不要	コンクリート養生が必要
工期*	グラウンドセル擁壁工法はコンクリート基礎工、養生が不要なため50%以上の工期短縮が可能	
経済性*	グラウンドセル擁壁工法を採用することで工事費が約1割削減	

※工期・経済性に関しては現場状況により異なります。

■ 施工フロー比較



東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

<https://www.tokyoink.co.jp>

本社 / 〒114-0002 東京都北区王子 1-12-4 TEL.03-5902-7627
 札幌営業所 / 〒065-0020 札幌市東区北二十条東 18-2-1 TEL.011-784-7772
 仙台営業所 / 〒980-0801 仙台市青葉区木町通 2-1-18 TEL.022-274-3531
 新潟営業所 / 〒950-0087 新潟市中央区東大通 1-2-25 TEL.025-245-3141
 名古屋支店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山 1-12-14 TEL.052-331-1515
 大阪支店 / 〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町 1-28 TEL.06-6761-0077
 広島営業所 / 〒732-0827 広島市南区稲荷町 5-18 TEL.082-568-4400
 福岡支店 / 〒816-0912 福岡県大野城市御笠川 3-13-5 TEL.092-503-8979